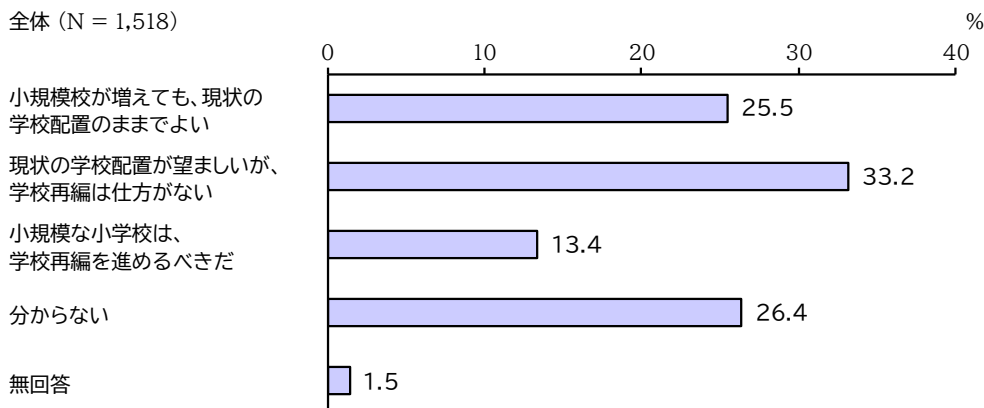
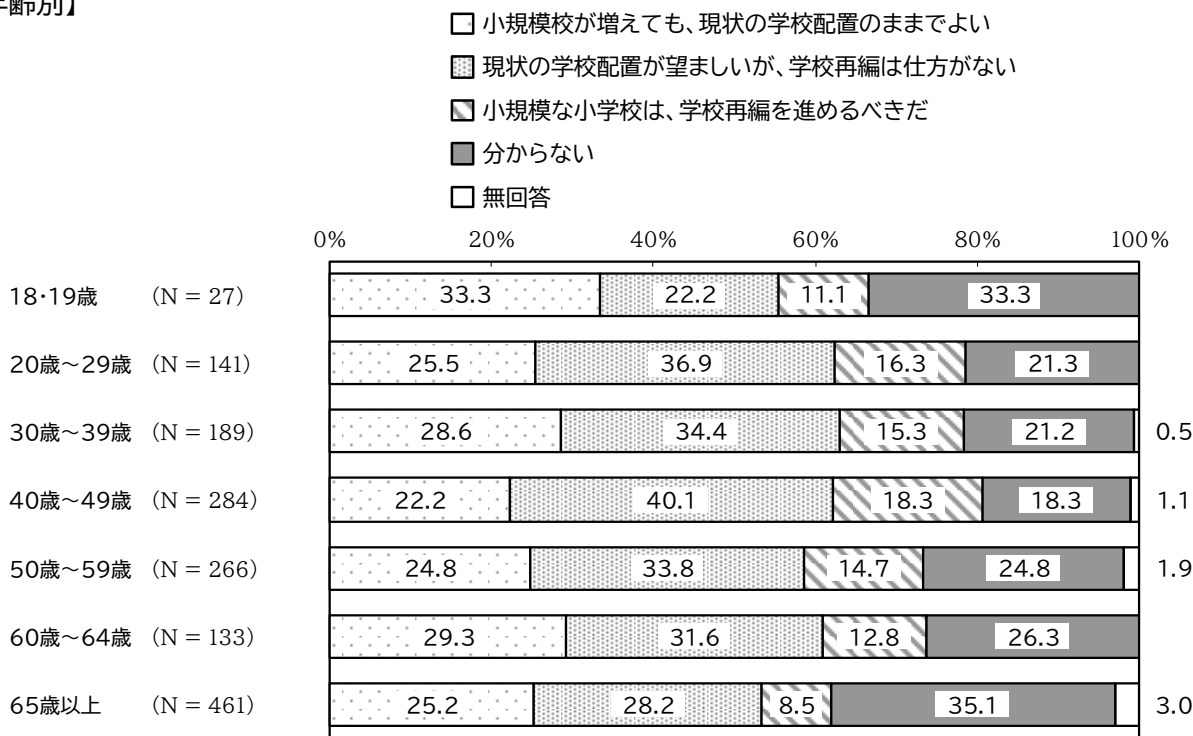


問 13 稲沢市では、令和4年度現在、中学校の学級数は全て標準規模となっていますが、小学校23校のうち13校は標準規模を下回っており、全ての学年が1学級という小学校も10校あります。また、少子化の影響により、1学級の児童数が15人を下回る小学校も増えることが予想されています。こうした状況の中、本市の小学校の配置について、あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は1つだけ)



【年齢別】



●稲沢市の学校の配置について「現状の学校配置が望ましいが、学校再編は仕方ない」と考える方が3割超え

学校再編については、「現状の学校配置が望ましいが、学校再編は仕方ない」の割合が33.2%と最も高く、次いで「分からない」の割合が26.4%、「小規模校が増えても、現状の学校配置のままでよい」の割合が25.5%となっています。

年齢別で見ると、他に比べ、20～29歳と40歳～49歳で「現状の学校配置が望ましいが、学校再編は仕方ない」「小規模な小学校は、学校再編を進めるべきだ」を合わせた割合が5割を超えています。